

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議開催における参加メンバーの日程調整が困難になってきており、参加人数の減少に繋がっている。	会議構成員の幅を広げ、多くの方に参加していただけるようにする。	地元市議会議員、消防、警察、地域包括等からの参加をお願いする。	12ヶ月
2	6	玄関、EVIは24時間施錠された状態になっており、身体拘束が日常化されている。また、身体拘束廃止に向けた取り組みがなされていない。	身体拘束について正しく理解し、鍵の無いグループホームをつくる。	身体拘束についての勉強会、研修への参加。現在どのような身体拘束または身体拘束になりうる状況があるのかを理解し、会議等で検証していく。	12ヶ月
3	35	年2回の火災訓練と災害訓練が実施できていない。	火災訓練、災害訓練を確実に実施していく。	地元近隣の協力を要請しながら、民生委員や入居者ご家族と共に訓練を実施する。	12ヶ月
4	40	入居者と同じ食事を摂ったり、囲んだりすることがない。	一緒に食事が摂れる環境をつくる。	職員の人員配置について調整を図り、食事を囲んで楽しい一時が過ごせるよう努めていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。